



各職場でがんばる組合員

「評価」ではなく「差別」だ 酸素業界の仲間と親会社へ

【産業ガステクノ支部】

茨城県ひたちなか市にある産業ガス輸送企業。昨年組合を結成し団体交渉を重ねるなかで、従業員に周知されていなかった評価制度が明らかになってきました。賃金に反映されているにもかかわらず、何をどう評価しているのは機密扱いになっており、組合員以外のドライバーからも不満の声が上がっています。五月には全国酸素部会と親会社である太陽日酸東関東に要請を実施。会社の閉鎖的な体質を変える闘いです。



一方的な配車停止 年齢による差別反対

【NIPPO壬生分会】

道路会社最大手NIPPO栃木工場（壬生町）で合材運搬に従事する組合員でつくるNIPPO壬生分会。下請の小林運輸は高齢ドライバーの事故が続発していることを理由に、高齢組合員にたいする「適齢診断」を実施、成績不良を理由に一時配車を停止しました。組合の抗議により配車は再開されましたが、高齢組合員の処遇について今後協議を続けることになっていきます。単価改善等春闘要求も提出



独立行政法人自動車事故対策機構が実施する運転適性検査

中央労働委員会始まる 会社の組合つぶし明らかに

【日祥運輸倉庫支部】

二〇一三年宇都宮市にある運送会社日祥運輸倉庫による組合つぶし（不当労働行為）事件、県地労委は昨年十一月組合の主張を一部認め会社に謝罪文を交付するよう命令を下しました。しかし会社は命令を不服とし中央労働委員会に再審査を申立、現在委員調査が進められています。委員長に対する不当解雇や書記長に対する嫌がらせなど、組合を敵視した会社の実態が、再度明らかになるうとしています。



・次回中央労働委員会は7月28日午後2時～

職場内暴行事件を放置 安心して働ける職場めざして

【(株) 蓼沼運輸】

佐野市に本社のある地元企業です。今年三月、就業時間中就業場所ですら組合員が同社のドライバーから暴行を受ける事件が発生しました。しかし会社は何ら対応しようとしませんでした。不明瞭な賃金体系など様々な課題も抱えており、組合員らは暴行事件を契機に職場改善を契機に職場改善に立ち上がりました。弁護士が会社代理人となり六月二十六日、ようやく団体交渉が開催されることになりました。



職場の改革を求めて 不当な降格人事と闘う

【プリヴェ運輸(株)】

プリヴェ運輸（旧東武運輸プリヴェ）で働く尾嶋秀一さんは、重大事故に直結する違法な長時間運行を拒否したところ、管理職からの降格を命じられ大幅な減収を強いられています。会社は管理職としての資質に問題があるとして降格の撤回に応じようとしていません。しかし録音記録等により、支店長によるパワハラ降格であることが明らかです。尾嶋さんは法律を守って安心して働ける職場をめざして、六月二十一日にも団体交渉を予定しています。



1年契約から無期契約に 労働条件の底上げを

【山本コンクリート工業(株)】

県内の生コン工場で働くミキサ運転手の多くが不安定な非正規雇用です。県内大手の山本コンクリート工業でも以前は正規雇用でしたが、会社は経営危機を理由に期間契約に変更し賃金も大幅に引き下げました。市川和彦さんは組合に加入し「経営は改善している。社長は約束を守ってほしい」とねばり強く訴えました。労働審判を経て今月から晴れて正規雇用契約に復帰、職場では支持者が生まれています。



第8回全国ダンプ交流集会



・七月十五日 ダンプ支部執行委員会
・八月五日 県本部執行委員会

二〇一七年春闘
・フコックス支部 要求 定昇+五千円 受結 定昇のみ
・エアケミ運輸支部 要求 四万五千円 受結 定昇のみ
・SGT支部 要求 四万五千円 受結 交渉中
・神田支部 1744円で受結
・日酸運輸分会 3000円で受結

第8回全国ダンプ交流集会開催
六月十一日～十二日、全国ダンプ部会主催の第八回全国ダンプ交流集会が宮城県仙台市で開催され、栃木ダンプ支部から九名が参加しました。集会では、組織拡大の取り組みが評価され表彰を受けました。（詳しくは全国ダンプ紙参照）

ダンプキャラバン栃木行動は7月27日（木）に決定しました。栃木県、栃木県警に現場の声をぶつけよう！